



のびるたけの子

9月号

令和8年8月31日

学校教育目標

【知徳体公開】自ら進んで課題や問題に取り組み、積極的に学び続ける子を育てます。
【知徳体公開】友達や社会の一員として、自他を尊重できる子を育てます。
【知徳体公開】社会の発展に貢献し、自他の生命や健康を大切にすることを学ぶ子を育てます。
【知徳体公開】人とコミュニケーションを通して、社会のために行動する子を育てます。
【知徳体公開】人と社会のつながりを通して、社会への視野を広げ、共に生きる心を育てます。

「ACTi(アクティ)」

校長 板橋 典子

夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。友達と再会しほっとした表情を見せる姿に胸が温くなりました。

私が校長として何より大切にしたいのは、子どもたちが安心して自分らしく過ごせる学校であることです。先日、学校心理士対象のセミナーに出席しましたら、子どもたちが安心して自分らしくいられる環境の大切さについて、話題になりました。私は子どもの心の安定は、大人の関わり方や環境づくりによって支えることができると思っています。学校は互いを認め合い（多様性の包摂）、子どもが‘困った’を言える環境でありたいものです。また、いじめ防止対策推進法に基づき、子どもの心身の安全に配慮した教育活動に努めています。行事や企画には子どもが安心して参加できるよう、必要に応じて内容を見直すことがあります。これは学校の大切な責務です。安心できる環境があるからこそ、子どもは挑戦できます。そのために、本校で大切にしている行動指針が「ACTi(アクティ)」です。

A=アンテナ高く。子どもの‘いつもと違う’に**気づく**目を大切にします

C=コンクルージョン。子どものために何が最善かを考え、適切に**判断**します

T=チームで。子どもを真ん中に置き、**チーム力**を発揮します

i=イノベーション。「これまで」にとらわれず今本当に必要なことを**問い直**します

学校には、これまで大切に受け継がれてきたものがあります。それを大切にしながら「これまで続けてきたから」ではなく、今の子どもたちにとって本当に適していることなのかを考えることも、私たち大人の責任です。

『すべての子どもたちの笑顔が見たい。』『一人ひとりが自分らしく、「自ら輝く」姿が見たい。』保護者の皆様も地域の方も学校も、**願いは同じ**です。その共通の願いを大切に、学校とご家庭と地域の方々が同じ方向を向いて子どもたちの成長を支えていきましょう。今月もよろしくお願いいたします。

【児童支援専任より】

夏休み明けの子どもたちは、生活リズムや気持ちの面で不安を感じることもあります。心配なことがありましたら、どうぞ遠慮なく学校にご相談ください。

さて地域の方から、「放課後や休日に勝手に敷地内へ入って遊んでいることや、ゴミを捨てていると児童がいて心配している」との連絡をいただいております。学校では、無断で敷地内に立ち入って遊んだり、ゴミを捨てたりしないよう指導しています。学校や地域を大切に、ルールやマナーを守って行動できるよう、今後も継続して指導してまいります。

ご家庭におかれましても、お子様が安全に過ごせるよう、地域での過ごし方についてお声掛けいただきますようお願いいたします。